

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
剰余金の配当の基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
定時株主総会基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081
(郵便物送付/電話照会) 連絡先	東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル) 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
同取次所	単元未満株式の買取請求及び買増請求は、上記株主名簿管理人事務取扱場所及び同取次所にて受付けております。
単元未満株式の買取請求及び買増請求	ただし、株券保管振替制度をご利用されている場合は、お取引の証券会社にお申し出下さい。 また、買増請求は、3月31日から起算して12営業日前から3月31日までの間及び9月30日から起算して12営業日前から9月30日までの間はお取扱いができませんので、ご留意下さい。
公告方法	電子公告 電子公告掲載 URL http://www.kissei.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部
●お知らせ	住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式の買取請求及び買増請求に必要な各用紙、株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-244-479で24時間承っておりますので、ご利用下さい。

第62期 報告書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)



北燕岳ーコマクサ群落

目次

株主の皆様へ	P 2
業績ハイライト（連結・個別）	P 3~4
事業の概況（連結）	P 5
研究開発の状況	P 6
財務諸表（連結）	P 7~8
財務諸表（個別）	P 9~10
製商品の紹介	P 11
トピックス	P 12
株式の状況	P 13
会社の概要	P 14



橘の花

「キッセイ」の由来

「キッセイ」は1946年創立。当時は、初代社長・雨森正五郎の家紋である“橘”を冠した株式会社 橘^{たちばなせい}生^か化学^{がく}研究所としてスタートしました。翌年橘^{きつせい}生^{せい}薬品工業株式会社と改称され、1964年に現社名の「キッセイ薬品工業株式会社」となりました。

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、当社第62期（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）の事業の概況をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

国家財政を圧迫する少子高齢化社会の到来を背景として、薬価の引き下げや診療報酬の改定など、医療費抑制のための抜本的施策が従来にない速度で進められており、医薬品業界にとっては厳しい経営環境が続くと予想されます。

このような環境の中、当社は創薬研究開発型企業として、その存在価値を高めるため、医療ニーズの高い創薬の研究開発に注力し、3つの新薬を相次いで発売することができ、現在、その早期育成のため営業努力を続けております。

当期の業績は連結売上高では増収になりましたものの、医薬品事業におきましては、糖尿病治療薬グルファスト、口腔乾燥症状改善薬サラジェン及び昨年5月に新発売いたしました前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬ユリーフの売上は増加いたしましたが、既存製品の薬価改定や後発医薬品・競合品による影響などにより減収となりました。利益面につきましては、医薬品事業や連結子会社における売上原価率が低下し、また、販売費及び一般管理費の効率的活用と削減を進めました結果、営業利益では増益となりました。

研究開発面の進捗といたしましては、グルファストの効能追加（ α -グルコシダーゼ阻害剤との併用療法）が本年5月に承認を取得いたしました。更に、サラジェンの効能追加につきましても本年度下期には承認取得の見込みであります。このように新薬開発は中期経営計画「EVOLUTION PLAN」どおり順調に進んでおります。また、創薬の研究、開発をより一層迅速化、効率化するために、中央研究所の増設を行うとともに、上越化学研究所を竣工、稼働させております。

当社は「純良医薬品を通じて社会に貢献する」、「会社構成員を通じて社会に奉仕する」ことを経営理念に掲げ、これを着実に実現するために内部統制基本方針を策定し、コンプライアンス体制、リスク管理体制の整備、充実を進めております。

このような方針のもと、CSR（企業の社会的責任）経営にも積極的に取り組み、企業価値の最大化を図ることにより、株主の皆様をはじめ、ステークホルダーの方々から信頼される企業を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年6月

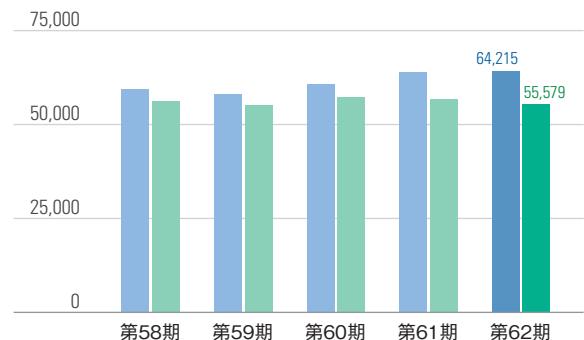


代表取締役社長 神津陸雄

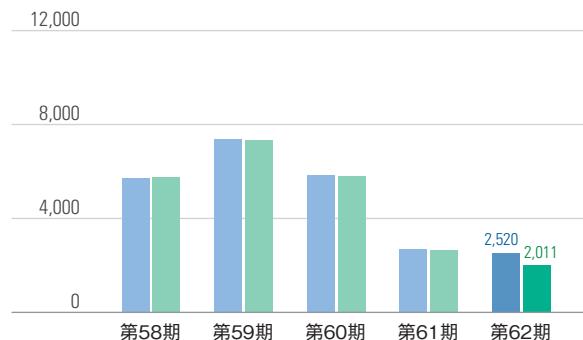
業績ハイライト（連結・個別）

■ 連結 ■ 個別

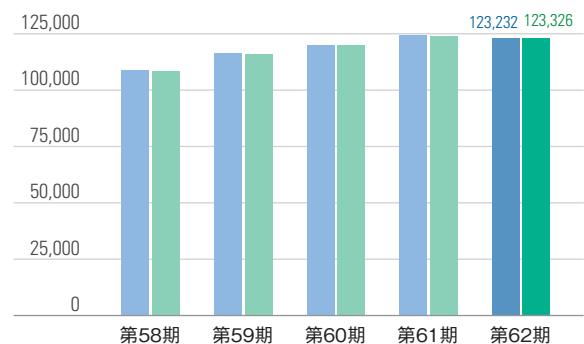
●売上高 (百万円)



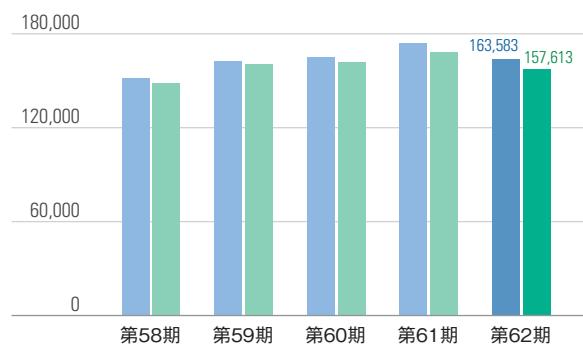
●経常利益 (百万円)



●純資産額 (百万円)



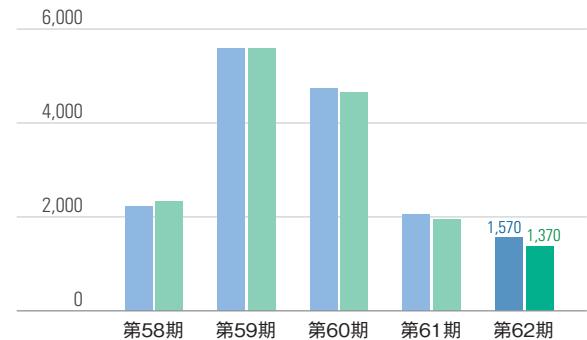
●総資産額 (百万円)



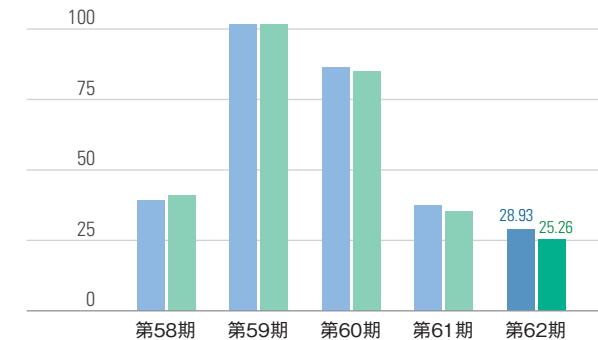
連結		第58期	第59期	第60期	第61期	第62期
売上高	(百万円)	59,528	58,225	60,933	64,007	64,215
経常利益	(百万円)	5,711	7,389	5,813	2,700	2,520
当期純利益	(百万円)	2,231	5,599	4,734	2,045	1,570
純資産額	(百万円)	108,635	116,265	120,085	124,259	123,232
総資産額	(百万円)	151,582	162,841	164,943	174,114	163,583
1株当たり当期純利益	(円)	39.36	101.82	86.47	37.31	28.93
1株当たり純資産額	(円)	1,978.26	2,137.76	2,210.01	2,288.70	2,268.85
自己資本比率	(%)	71.7	71.4	72.8	71.4	75.3
自己資本当期純利益率	(%)	2.0	5.0	4.0	1.7	1.3

業績ハイライト（連結・個別）

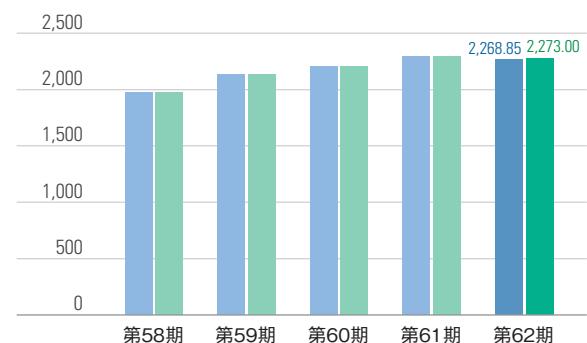
●当期純利益 (百万円)



●1株当たり当期純利益 (円)



●1株当たり純資産額 (円)



●自己資本当期純利益率 (ROE) (%)



個別		第58期	第59期	第60期	第61期	第62期
売上高	(百万円)	56,240	55,178	57,236	56,642	55,579
経常利益	(百万円)	5,737	7,331	5,836	2,650	2,011
当期純利益	(百万円)	2,322	5,584	4,655	1,946	1,370
純資産額	(百万円)	108,411	116,026	119,841	124,679	123,326
総資産額	(百万円)	148,915	160,348	162,101	168,508	157,613
1株当たり当期純利益	(円)	40.99	101.54	85.00	35.49	25.26
1株当たり純資産額	(円)	1,974.18	2,133.36	2,205.51	2,296.43	2,273.00
自己資本比率	(%)	72.8	72.4	73.9	74.0	78.2
自己資本当期純利益率	(%)	2.1	5.0	3.9	1.6	1.1
資本金	(百万円)	24,219	24,219	24,219	24,219	24,221
発行済株式総数	(株)	56,795,185	56,795,185	56,795,185	56,795,185	56,796,454
1株当たり配当金	(円)	14	17	20	24	28 (うち記念配当: 4)

事業の概況（連結）

当期の概要

当連結会計年度におけるわが国経済は、海外景気が減速傾向にあることに加え、金利の上昇や原油価格高騰の長期化などの懸念材料がありましたものの、好調な企業収益を背景とした設備投資や底堅い個人消費などの民間需要主導による緩やかな景気回復が続きました。

医薬品業界におきましては、後発品使用促進を始めとする薬剤費抑制策などによる影響を引き続き受け、更に昨年4月に実施されました薬価改定の影響もあり、一層厳しい状況にありました。また、情報サービス業界、物品販売業界、建設業界におきましては、好調な企業収益を背景としたIT投資需要など景況感には回復傾向が見られるものの、公共事業投資は引き続き縮小基調にあり、厳しい価格競争が継続するなど、依然として熾烈な競争環境下にありました。

このような情勢の中で、昨年5月に前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「ユリーフ[®]カプセル」（一般名：シロドシン）を新発売いたしましたほか、平成16年5月に発売いたしました糖尿病治療薬「グルファスト[®]錠」、平成17年9月に発売いたしました口腔乾燥症状改善薬「サラジェン[®]錠」の育成を図るとともに、既存の製商品につきましても積極的な医薬情報活動を推進いたしました。なお、平成14年3月より発売いたしておりました血糖自己測定システム「フリースタイルキッセイ」につきましても、販売契約期間満了に伴い昨年9月に販売権をニプロ株式会社に返還し販売を終了いたしました。

研究開発面では、承認申請中でありますグルファストの効能追加（ α -グルコシターゼ阻害剤との併用療法：平成17年10月申請）及びサラジェンの効能追加（シェーグレン症候群患者の口腔乾燥症状の改善：平成17年12月申請）の承認取得に向けたフォローを行いましたほか、各テーマの研究開発を推進いたしました。また、当社はこれまで主に低分子医薬品を中心とした研究開発を行ってまいりましたが、これに加えて、将来市場拡大の期待できるバイオ医薬品の開発にも取り組んでおります。更に、創業テーマのライセンスアウトも積極的に進めており、当連結会計年度におきましては、昨年4月に新規糖尿病治療薬KGAのグラクソ・スミスクライン社（イギリス）へのライセンスアウトを実施いたしましたほか、昨年10月には株式会社チョンウェ製薬（韓国）にライセンスアウトしておりましたグルファストが韓国で新発売となりました。

その他の事業におきましては、グループとしての相乗効果の向上を課題に、事業内容の再編成等に積極的に取り組んでおります。

この結果、当連結会計年度の売上高は642億1千5百万円（前連結会計年度比0.3%増）、営業利益は26億4千5百万円（同40.9%増）、経常利益は25億2千万円（同6.7%減）、当期純利益は15億7千万円（同23.2%減）の業績となりました。

来期の見通し

医薬品業界は、社会保障費の財源論を背景とする医療費抑制策が進展する中、更なる医療制度改革も来年度に予定されており、引き続き厳しい環境下にあります。

その他の事業におきましても、好調な企業収益を背景として設備投資は引き続き増加基調にあると思われませんが、価格競争など依然として厳しい業界環境が継続するものと予想されます。

次期の業績につきましては、売上高643億円、経常利益43億5千万円、当期純利益24億3千万円を目標に業績の確保に努力いたします。

対処すべき課題

平成15年4月より計画期間を5ヵ年とする中期経営計画「EVOLUTION PLAN」を展開しております。当中期経営計画のスローガンは「収益構造の変革」と「成長フェーズへの転換」であり、これを着実に達成することが当面の課題であります。

「収益構造の変革」とは、研究重点領域を絞り、経営資源の適正投入を行うとともに、現在の人員体制を維持し、各種業務の抜本的見直しによる経費節減を図ることです。更に、従来から継続しております他社、あるいは研究機関等との共同開発や共同販売などの戦略的提携について積極的な展開を図ります。

「成長フェーズへの転換」とは、当中期経営計画期間中に、糖尿病治療薬グルファスト、口腔乾燥症状改善薬サラジェン、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬ユリーフの3製品について効能追加を含めた5適応症全ての承認を国内市場で取得し、早期育成を図ることです。このうちグルファスト、サラジェン、ユリーフにつきましては既に承認を取得し、発売いたしましたほか、効能追加につきましても現在承認申請中であります（注）。また、海外医薬品市場におきましては、マイルストーン及びロイヤルティ収入に収益を求めるライセンスアウトを推進し、当社オリジナル製品が少しでも早く海外で発売されることを目指します。

（注）グルファストの α -グルコシターゼ阻害剤との併用療法につきましては、平成19年5月24日に効能追加の承認を取得いたしました。

研究開発の状況

技術革新と国際化の急激な進展により、研究開発テーマの評価基準と承認審査のハードルは高くなっています。このような状況下において、当社は経営ビジョン「創薬研究開発型企業」を実現するために、創薬研究の基盤強化、最優先テーマの早期承認取得及びR&Dパイプラインの充実強化を推進しております。

（平成19年5月末現在・第Ⅱ相以上）

国内

開発段階	製品名／一般名	開発番号	開発区分	予想される適応症	主な作用	備考
承認取得	グルファスト [®] ／ミチグリニド	KAD-1229	創製品／自社開発	2型糖尿病における食後血糖推移の改善（ α -グルコシターゼ阻害剤との併用療法）	速効・短時間型インスリン分泌促進作用	効能追加
承認申請中	サラジェン [®] ／ピロカルピン	KSS-694	導入品／エム・ジー・アイ・ファーマ（アメリカ）	シェーグレン症候群患者の口腔乾燥症状の改善	唾液分泌促進作用	効能追加
	グルファスト [®] ／ミチグリニド	KAD-1229	創製品／武田薬品工業共同開発	2型糖尿病における食後血糖推移の改善（インスリン抵抗性改善剤との併用療法）	速効・短時間型インスリン分泌促進作用	効能追加
第Ⅱ／Ⅲ相	—	JR-013	導入品／日本ケミカルリサーチ共同開発	透析施行中の腎性貧血	赤血球増加作用	
第Ⅱ相	—	KUC-7483	創製品／自社開発	過活動膀胱	β 3 受容体刺激作用	

海外

開発段階	一般名／開発番号	開発区分／導出先	導出先権利許諾地域／自社開発地域	予想される適応症	主な作用
承認申請中	ミチグリニド	ヒクマ（ヨルダン）	中東	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
第Ⅲ相	シロドシン	ワトソン（アメリカ）	アメリカ、カナダ、メキシコ	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α 1 A 受容体拮抗作用
	シロドシン	チョンウェ製薬（韓国）	韓国	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α 1 A 受容体拮抗作用
	シロドシン	レコルダッチ（イタリア）	欧州、中東、アフリカ	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α 1 A 受容体拮抗作用
	*1ミチグリニド	自社開発	中国	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
	*1ミチグリニド	オリエントユーロ（台湾）	台湾、香港	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
第Ⅲ相準備中	シロドシン	第一三共（日本）	中国	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α 1 A 受容体拮抗作用
	*1シロドシン	シンモサ（台湾）	台湾、香港	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α 1 A 受容体拮抗作用
	*1ミチグリニド	USV（インド）	インド	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
第Ⅱ相	*2ミチグリニド	エリキシア（アメリカ）	北米、中米、南米	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
	VX-702（KVK-702）	ヴァーテックス（アメリカ）共同開発		関節リウマチ	p 38MAPキナーゼ阻害作用
	KGT-1251、KGT-1681	グラクソ・スミスクライン（イギリス）	日本、韓国、中国、台湾を除く全世界	2型糖尿病、肥満	SGLT 2 阻害作用
	KUR-1246	メディシノバ（アメリカ）	日本を除く全世界	切迫早産、喘息の急性発作	β 2 受容体刺激作用

※1：第Ⅲ相臨床試験からの開発（第Ⅰ相及び第Ⅱ相臨床試験はスキップ）

※2：今後の臨床開発についてFDAと協議中

財務諸表（連結）

●連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別 前 期 (平成18年3月31日現在)	当 期 (平成19年3月31日現在)	科目	期別 前 期 (平成18年3月31日現在)	当 期 (平成19年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	102,464	93,720	流動負債	29,935	21,145
現金及び預金	37,187	33,480	支払手形及び買掛金	9,193	9,548
受取手形及び売掛金	25,194	27,990	短期借入金	2,664	2,493
有価証券	20,237	14,142	1年以内償還予定転換社債	9,586	—
たな卸資産	12,662	10,876	未払法人税等	378	1,211
繰延税金資産	1,398	1,880	賞与引当金	1,402	1,442
その他	5,789	5,402	その他の引当金	960	908
貸倒引当金	△4	△52	その他の引当金	5,749	5,539
固定資産	71,650	69,863	固定負債	19,824	19,205
有形固定資産	28,649	30,630	転換社債	12,191	12,191
建物及び構築物	11,876	12,393	長期借入金	108	82
土地	13,402	13,402	繰延税金負債	2,493	2,027
建設仮勘定	419	1,854	退職給付引当金	3,641	3,455
その他	2,950	2,980	役員退職慰労引当金	1,388	1,447
無形固定資産	3,593	3,861	その他の引当金	1	1
投資その他の資産	39,406	35,371	負債合計	49,760	40,351
投資有価証券	35,795	31,878	(少数株主持分)		
長期貸付金	655	615	少数株主持分	94	—
長期前払費用	1,086	865	(資本の部)		
繰延税金資産	256	371	資本金	24,219	—
その他	1,728	1,751	資本剰余金	24,112	—
貸倒引当金	△115	△111	利益剰余金	71,388	—
資産合計	174,114	163,583	その他有価証券評価差額金	8,599	—
			自己株式	△4,060	—
			資本合計	124,259	—
			負債、少数株主持分及び資本合計	174,114	—
			(純資産の部)		
			株主資本	—	115,744
			資本金	—	24,221
			資本剰余金	—	24,114
			利益剰余金	—	71,527
			自己株式	—	△4,119
			評価・換算差額等	—	7,357
			その他有価証券評価差額金	—	7,357
			少数株主持分	—	131
			純資産合計	—	123,232
			負債純資産合計	—	163,583

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別 前 期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)	当 期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)
売上高	64,007	64,215
売上原価	28,282	28,018
売上総利益	35,725	36,196
販売費及び一般管理費	33,848	33,551
営業利益	1,877	2,645
営業外収益	1,266	693
営業外費用	443	818
経常利益	2,700	2,520
特別利益	1,330	1,049
特別損失	443	396
税金等調整前当期純利益	3,587	3,173
法人税、住民税及び事業税	1,419	1,787
法人税等調整額	119	△221
少数株主利益	2	36
当期純利益	2,045	1,570

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結株主資本等変動計算書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	24,219	24,112	71,388	△4,060	115,660	8,599	8,599	94	124,354
連結会計年度中の変動額	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新株の発行	1	1	—	—	2	—	—	—	2
剰余金の配当	—	—	△1,411	—	△1,411	—	—	—	△1,411
役員賞与	—	—	△19	—	△19	—	—	—	△19
当期純利益	—	—	1,570	—	1,570	—	—	—	1,570
自己株式の取得	—	—	—	△59	△59	—	—	—	△59
自己株式の処分	—	0	—	0	1	—	—	—	1
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△1,242	△1,242	36	△1,206
連結会計年度中の変動額合計	1	1	139	△58	83	△1,242	△1,242	36	△1,122
平成19年3月31日残高	24,221	24,114	71,527	△4,119	115,744	7,357	7,357	131	123,232

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別 前 期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)	当 期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,070	3,958
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,570	1,594
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,490	△11,246
現金及び現金同等物に係る換算差額	32	0
現金及び現金同等物の増減額	42	△5,692
現金及び現金同等物の期首残高	48,983	49,647
連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の受入高	621	—
現金及び現金同等物の期末残高	49,647	43,954

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科目	期別 前 期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
(資本剰余金の部)	
資本剰余金期首残高	24,111
資本剰余金増加高	0
自己株式処分差益	0
資本剰余金期末残高	24,112
(利益剰余金の部)	
利益剰余金期首残高	71,344
利益剰余金増加高	2,045
当期純利益	2,045
利益剰余金減少高	2,001
配当金	1,194
役員賞与	35
連結範囲の変更に伴う減少高	771
利益剰余金期末残高	71,388

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表（個別）

●貸借対照表

（単位：百万円）

科目	期別 前 期 (平成18年3月31日現在)	当 期 (平成19年3月31日現在)	科目	期別 前 期 (平成18年3月31日現在)	当 期 (平成19年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	97,335	88,340	流動負債	24,404	15,484
現金及び預金	35,003	30,788	買掛金	6,502	5,802
受取手形	135	62	短期借入金	1,152	1,152
売掛金	23,920	26,568	1年以内償還予定転換社債	9,586	—
有価証券	20,237	14,142	未払払人税等	4,262	4,327
たな卸資産	11,017	9,775	賞与引当金	345	913
繰延税金資産	1,277	1,721	その他の引当金	1,196	1,161
その他	5,742	5,325	その他の引当金	960	908
貸倒引当金	—	△45	その他の引当金	398	1,218
			固定負債	19,423	18,802
固定資産	71,172	69,272	転換社債	12,191	12,191
有形固定資産	27,689	30,147	長期借入金	21	17
建物	10,980	11,719	繰延税金負債	2,487	1,986
土地	12,450	12,450	退職給付引当金	3,395	3,219
その他	4,258	5,978	役員退職慰労引当金	1,328	1,387
無形固定資産	3,712	3,571	負債合計	43,828	34,287
投資その他の資産	39,771	35,553	(資本の部)		
投資有価証券	35,846	31,953	資本金	24,219	—
その他	4,040	3,711	資本剰余金	24,112	—
貸倒引当金	△115	△111	利益剰余金	71,817	—
			その他有価証券評価差額金	8,590	—
			自己株式	△4,060	—
資産合計	168,508	157,613	資本合計	124,679	—
			負債及び資本合計	168,508	—
			(純資産の部)		
			株主資本	—	115,973
			資本金	—	24,221
			資本剰余金	—	24,114
			利益剰余金	—	71,757
			自己株式	—	△4,119
			評価・換算差額等	—	7,352
			その他有価証券評価差額金	—	7,352
			純資産合計	—	123,326
			負債純資産合計	—	157,613

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●損益計算書

（単位：百万円）

科目	期別 前 期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)	当 期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	科目	期別 前 期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)	当 期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)
売上高	56,642	55,579	経常利益	2,650	2,011
売上原価	22,142	21,189	特別利益	1,330	1,049
返品調整引当金戻入額	23	17	特別損失	539	316
返品調整引当金繰入額	17	19	税引前当期純利益	3,440	2,744
売上総利益	34,506	34,387	法人税、住民税及び事業税	1,370	1,480
販売費及び一般管理費	32,716	32,299	法人税等調整額	123	△106
営業利益	1,790	2,088	当期純利益	1,946	1,370
営業外収益	1,366	809	前期繰越利益	2,081	—
営業外費用	506	886	中間配当額	651	—
			当期未処分利益	3,376	—

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●株主資本等変動計算書（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）

（単位：百万円）

	株主資本									評価・換算差額等		純資産合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		別途積立金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計					
平成18年3月31日残高	24,219	24,110	2	24,112	940	67,500	3,376	71,817	△4,060	116,089	8,590	8,590	124,679
事業年度中の変動額													
新株の発行	1	1	—	1	—	—	—	—	—	2	—	—	2
別途積立金の積立	—	—	—	—	—	600	△600	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	△1,411	△1,411	—	△1,411	—	—	△1,411
役員賞与	—	—	—	—	—	—	△19	△19	—	△19	—	—	△19
当期純利益	—	—	—	—	—	—	1,370	1,370	—	1,370	—	—	1,370
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	—	△59	△59	—	—	△59
自己株式の処分	—	—	0	0	—	—	—	—	0	1	—	—	1
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△1,237	△1,237	△1,237
事業年度中の変動額合計	1	1	0	1	—	600	△659	△59	△58	△115	△1,237	△1,237	△1,353
平成19年3月31日残高	24,221	24,111	2	24,114	940	68,100	2,716	71,757	△4,119	115,973	7,352	7,352	123,326

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

製商品の紹介

●主な医療用医薬品

●その他代謝用薬	
グルファスト錠	糖尿病治療薬
●神経系用薬	
カバサル錠	パーキンソン病治療薬
●感覚器官用薬	
リザベン点眼液	アレルギー性結膜炎治療薬
リズモンTG点眼液	緑内障・高眼圧症治療薬
●循環器官用薬	
ベザトールSR錠	高脂血症治療薬
キサンボン注	脳循環改善薬
シナロング錠	血圧降下薬
●消化器官用薬	
サラジェン錠	口腔乾燥症改善薬
ガスコン	消化管内ガス駆除薬
アラント	胃・十二指腸潰瘍治療薬
●ホルモン・泌尿生殖・血液体液用薬	
ユリーフカプセル	排尿障害改善薬
ウテメリン	切迫流・早産治療薬
フラグミン静注	血液凝固阻止薬
ゾラデックス1.8mgデボ	子宮内膜症治療薬
エストラダームM	女性ホルモン剤
フルスタン錠	活性型ビタミンD ₃ 製剤
●アレルギー用薬	
リザベン	アレルギー性疾患治療薬
ドメナン錠	気管支喘息治療薬

●主なヘルスケア食品

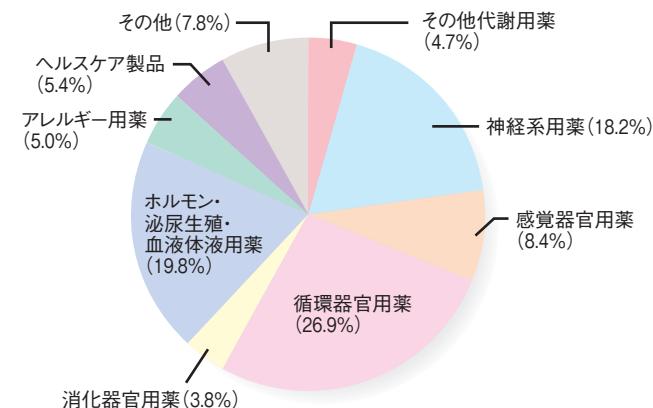
高齢者・介護補助食品

スルーキング・・・お茶やジュース等の飲み物や食品の種類及び温度に関係なく、安定したとろみがつけられるとろみ調整食品です。無色でにおいも味もなく、食品の風味を損ないません。

スルーソフトS・・・液状食品やキザミ食に、温度に関係なくお好みの自然なとろみがつけられるとろみ調整食品です。においも味もなく、食品の風味を損ないません。

やわらかカップ・・・テリーヌ風においしくとろけるようなやわらかさに仕上げました。うなぎ、ほたて風味、かに風味、いわし、いとより鯛、ポークしょうが焼きがあります。また、たんぱく質を強化した、ぶり大根風味、さばの味噌煮もあります。

●売上高比率 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)



エネルギー補給食品

カップアガロリー・・・1食で150kcalのエネルギー、100mgのカルシウムが補給できます。味の種類はマスカット、オレンジ、ウメ、カリン、リンゴ、モモ、ストロベリー、ブルーベリーがあります。

マクトンシリーズ・・・効率的に体内に吸収されエネルギーとなる中鎖脂肪酸を用いたエネルギー補給食品です。手軽に召し上げられるクッキーなどのほか、様々な料理にお使いいただけるオイル、パウダーもあります。

たんぱく質、リン、カリウム調整食品

ゆめごはん・・・たんぱく質を抑えたおいしいパック入りごはんです。温めてそのままお召し上がりいただけます。

げんたうどん・そば・そうめん・・・たんぱく質、リン、カリウムを低減した、厚生労働省許可特別用途食品（低たんぱく質食品、腎不全患者用）です。

トピックス

内部統制システム整備の基本方針

当社は、平成18年5月15日開催の取締役会において「内部統制システム整備の基本方針」について以下のとおり決定しております。

キッセイ薬品工業株式会社は、「純良医薬品を通じて社会に貢献する／会社構成員を通じて社会に奉仕する」という経営理念の下、役員及び従業員が総力を挙げて企業価値を向上させ永続的発展を目指すとともに、社会的責任を果たすことをここに宣言する。本基本方針は、会社法第362条5項に基づき、当社の内部統制システムの体制整備のために取り組む活動の基本方針を定めるものである。

- 取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合するための体制
 - キッセイ薬品行動憲章に則り、企業倫理・法令遵守をあらゆる企業活動の前提とすることを徹底する。また、取締役会はコンプライアンス担当取締役を指名し、コンプライアンス推進部門を統括せしめるとともに、取締役会の諮問機関としてコンプライアンス委員会を設置する。
 - 取締役会は、取締役、監査役並びに従業員がコンプライアンス上の問題を発見したときの報告及び迅速かつ適切な情報の収集、確保を行い適切な対応がとれるよう連絡・相談制度を構築し、特に取締役との関連性が高いなどの重要な問題は直ちに取締役会、監査役に報告されるよう体制の整備を行う。
- 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
 - 取締役会は、当社の取締役及び部門責任者の職務執行に係る情報の保存及び管理を適切に行う体制を整備する。また、法務担当取締役をして、文書管理規程を制定せしめ、これにより、必要な文書（磁気的記録その他の記憶媒体を含むものとする。）を関連資料その他情報と共に、その保存媒体に応じて適切かつ検索性の高い状態で保存・管理する。
 - 文書管理規程に定める文書について、取締役又は監査役から閲覧の要請があった場合に遅滞なくその閲覧に供する。
 - 文書管理規程の制定及び改定をするときは、事前に監査役会の意見を求め、取締役会の承認決議を得るものとする。
- 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
 - 取締役会は、リスク管理規程その他の必要な社内規程を定め、業務執行に係るリスクの把握と管理を行う体制を整備する。
 - リスクの適切な抽出、評価及び対応を期すことを目的として、会社のリスク及び危機管理を経営計画に対する個別のリスク、法的リスク及び危機管理、その他の危機管理の3つの領域に分けて適切な部門に管掌させる。また、当社は、取締役会の諮問機関としてこれら3部門の担当者を含むメンバーからなるリスク管理委員会を設置し、定期的にリスク管理体制整備の進捗状況を監視するとともに、具体的な個別事案の検証を通じて全社体制の妥当性に関する検証を行う。
 - 各部門責任者は、リスク管理規程に従い、予め具体的なリスクを想定・分離し、有事の際の迅速かつ適切な情報伝達とその対応体制を整備するとともに、規則・ガイドラインの制定、研修の実施、マニュアルの作成を行う。また、新たに発生したリスクについては同規程に従い遅滞なくリスク管理委員会に報告し、適切に対処する。
- 取締役の職務執行が効率的に行われることを確保するための体制
 - 当社における一定基準以上の全ての事業は、その計画及び実施の段階において、取締役会又は関係する取締役及び部門責任者その他の機関により、定期的或いは随時に適正かつ十分な科学的根拠により検証され、必要な修正がなされなければならない。
 - 取締役の職務執行の効率性を高めるために、連携と牽制を意図して社内組織を構築し、社内規程の定めに基づく明確な業務分掌、職務権限及び意思決定ルールを設け、適正かつ効率的に職務の執行が行われる体制を確保する。
 - 取締役会は、取締役及び従業員が共有する全社的な計画を策定し、各事業年度の半期毎に各部署が実施すべき合理的かつ具体的な目標並びに効率的な達成方法を定める。また、効率化を阻害する要因を排除するなどの改善を促すことにより、目標達成の確度を高め、全社的な業務の効率化を実現する体制を構築する。
- 企業集団における業務の適正を確保する体制
 - キッセイグループ行動憲章を定め、これに則り、グループ企業の取締役及び従業員が一体となって遵法意識の醸成を図る。
 - 当社は取締役会において関係会社管理規程等を整備し、一定の事項について各グループ企業の取締役会決議前に当社関連企業管理部門に承認を求め又は報告することを義務づけ、必要に応じ当社取締役会の事前の承認決議を得るものとする。また、当社における管理領域毎に、効率性向上のための施策を検討・実施する。
 - グループ全体の連絡・相談制度を設け、コンプライアンス上の問題に関する情報の収集、確保に努め、適切な対応がとれるようグループ全体のコンプライアンス体制を整備する。
- 監査役職務を補助すべき使用人にかかる体制とその独立性に関する事項
 - 監査役が職務を補助すべき使用人を求めた場合は、監査役と協議の上、補助者として内部監査部門の従業員を充てる。
 - 監査役より、監査業務に必要な命令を受けた従業員は、その命令に関する限り取締役、内部監査部門の長らの指揮命令を受けない。
 - 補助者に任命された従業員の人事異動、人事考課、懲戒処分は、その内容につき、監査役会の事前の承認を得なければならない。
- 取締役及び使用人による監査役又は監査役会に対する報告のための体制、その他監査役監査の実効性確保のための体制
 - 取締役会は、監査役会に報告すべき事項を監査役と協議の上定め、各担当取締役または部門責任者が報告をする。
 - 監査役会に対して、その要望に応じ、取締役及び従業員に対するヒヤリングを実施する機会、及び代表取締役社長、会計監査人とそれぞれ定期的に意見交換を行う機会を与える。
 - 監査役会に対して、独自に弁護士及び公認会計士を活用し、監査業務に関する助言を受ける機会を保障する。

株式の状況

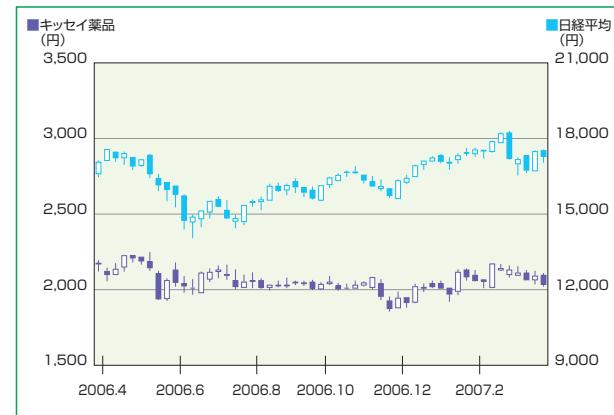
発行可能株式総数 227,000,000株
 発行済株式の総数 56,796,454株
 株主数 3,569名 (前期末比 259名減)

●大株主

株主名	持株数
有限会社カンザワ	3,178千株
第一生命保険相互会社	2,718
神澤邦雄	2,702
株式会社八十二銀行	2,670
株式会社みずほ銀行	2,670
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,494
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,118
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)	1,714
神澤陸雄	1,458
鋼林株式会社	1,219

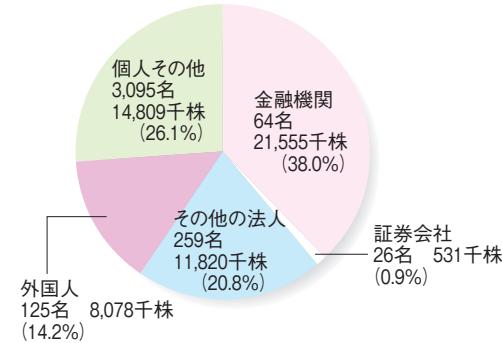
(注) 当社は自己株式2,539,319株を保有しております。

●株価チャート

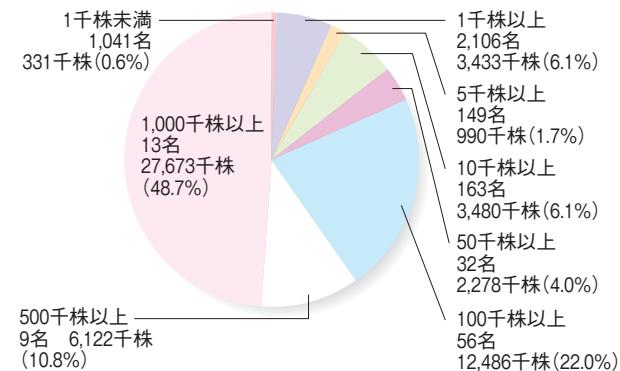


(平成19年3月31日現在)

●所有者別分布



●所有株数別分布



会社の概要

(平成19年3月31日現在)

社名 **キッセイ薬品工業株式会社**
 英文名称 **KISSEI PHARMACEUTICAL CO., LTD.**
 設立 昭和21年8月9日
 資本金 24,221,156,167円
 主要事業内容 医療用医薬品の製造販売
 事業所 長野県松本市芳野19番48号
 電話 (0263) 25-9081 〒399-8710
 東京本社 東京都中央区日本橋室町一丁目8番9号
 電話 (03) 3279-2761 〒103-0022
 東京本社(小石川) 東京都文京区小石川三丁目1番3号
 支店 札幌支店、仙台支店、関越支店(さいたま市)、東京支店、横浜支店、松本支店、名古屋支店、京都支店、大阪支店、高松支店、広島支店、福岡支店
 (注) 支店の下に33営業所を設置しております。
 工場 松本工場、塩尻工場(物流センター含む)
 研究所 中央研究所・第二研究所・製剤研究所(長野県安曇野市)
 ヘルスクエア事業センター(長野県塩尻市)
 従業員数 1,487名

役員
 代表取締役社長 神澤邦雄
 代表取締役副社長 神澤陸雄
 取締役副社長 岩垂正矩
 専務取締役 斎藤浩
 専務取締役 味澤幸義
 常務取締役 薄田利秋
 常務取締役 柳澤圭一郎
 取締役 降旗征一郎
 取締役 熊澤潔
 取締役 足立寿喜夫
 取締役 赤羽増夫
 取締役 富澤輝雄
 取締役 御子柴今雄
 取締役 佐藤哲衛
 取締役 矢野嘉夫
 取締役 久保澤秀長
 取締役 北小池長肇

HPのご案内

タイムリーな情報をウェブサイト上で提供しています。



URL : <http://www.kissei.co.jp/>

アニュアルレポート

ホームページ(English Page)にも掲載しています。



社会・環境報告書

環境への取り組みを「社会・環境報告書」としてまとめています。



資料請求のご連絡先: 広報部 TEL: 0263-25-9523 (土日祝日、当社休日を除く月～金 8:40～17:20)